

令和3年度

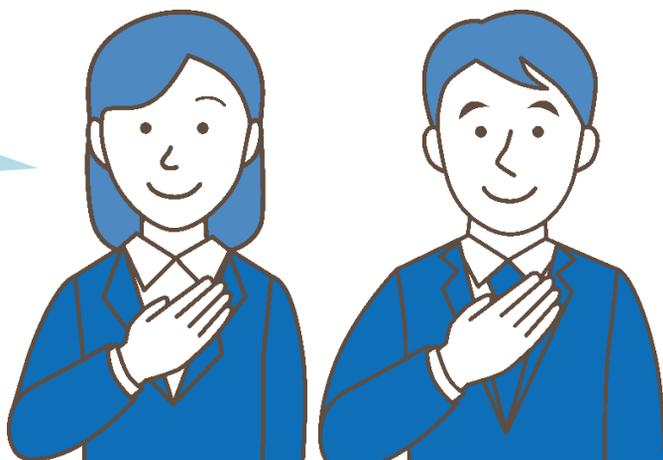


社会福祉士が 担う成年後見

～ぱあとなあ東京の取り組みと実践事例～

権利擁護センター
ぱあとなあ東京とは？

「ぱあとなあ東京」は、公益社団法人日本社会福祉士の1年間にわたる「成年後見人養成研修」を修了し、後見人等の候補者として東京家庭裁判所に名簿を提出する資格のある、東京社会福祉士会所属の社会福祉士の集まりです。



日時

令和4年 3月16日(水) 14時～16時

実施方法

オンライン（ZOOM）及び 動画配信視聴

お話し

公益社団法人東京社会福祉士会 権利擁護センター ぱあとなあ東京
大塚 明 氏 ・ 山本 真木子 氏 ・ 小川 由憲 氏

区部北ブロックマネジャー
社会福祉士

区部北ブロックサブマネジャー
(豊島区) 社会福祉士

区部北ブロックサブマネジャー
(北区) 社会福祉士

対象者

豊島区内で福祉及び成年後見に関連する業務に従事する職員の方

参加方法

①当日ZOOMで参加 ②後日Youtubeで動画を視聴〈申込者期間限定公開〉

申込方法

裏面をご参照下さい。

※ZOOMでの参加上限は100名です。

主催

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
福祉サービス権利擁護支援室 「サポートとしま」

TEL

3981-2940

FAX

3981-2946

Mail

siensitu@a.toshima.ne.jp

社会福祉士が担う成年後見 ～ばあとなあ東京の取り組みと実践事例～

申込み方法のご案内

・WEB上でお申込みをお願いします。

①下記のQRコード◎を読み込み、Googleフォームに必要事項を入力の上送信下さい。



②QRコード◎を読み込めない方は、豊島区民社会福祉協議会のホームページに記載のGoogleフォームアドレスから必要事項を入力の上送信して下さい。

豊島区民社会福祉協議会ホームページ <https://toshima-shakyo.or.jp/>

検索サイトで「豊島区民社協」と入力して検索してもホームページをすぐに見つけられます。

勉強会の内容

①ばあとなあ東京の紹介

ばあとなあ東京がどのような団体か、候補者の依頼についてや取り組みについてご説明いただきます。

②社会福祉士が成年後見人となる強み

豊島区では、専門職が成年後見人となる場合、司法書士等の法律職が受任するケースが多くなっています。社会福祉士が福祉専門職として後見人となる強みや特色についてご説明いただきます。

③実践事例

社会福祉士が受任している事例について「高齢者」、「障がい者」の方のケースを通じて成年後見人の関わりや支援について理解を深めます。

④質疑応答

※成年後見制度自体の説明や解説等はございません。あらかじめご了承下さい。